

2014-15年度 米山奨学セミナー



2014.9.6 (土)

RID2660 米山奨学委員会

委員長 近藤菜穂子

2014－15年度 米山奨学委員会

●活動方針

米山奨学事業は将来、母国と日本の架け橋となって国際社会で活躍する優秀な学生を奨学することを目的としています。その財源は、全てロータリアンの寄付金として支援頂いています。

将来的ビジョン：全クラブへ奨学生をご紹介できるようにする。
現状：受け入れをご希望された全てのクラブに奨学生をご紹介できるように！！

※昨年度は45クラブから受け入れ希望あり。
しかしながら、20クラブにお断りする状況です。

一人当たり：30000円寄付金目標

2014－15年度 米山奨学委員会

●重点項目

①推薦大学制度の充実

ロータリー記念米山奨学生として優秀な留学生を紹介していただく働きかけを行う

②奨学生の質的向上

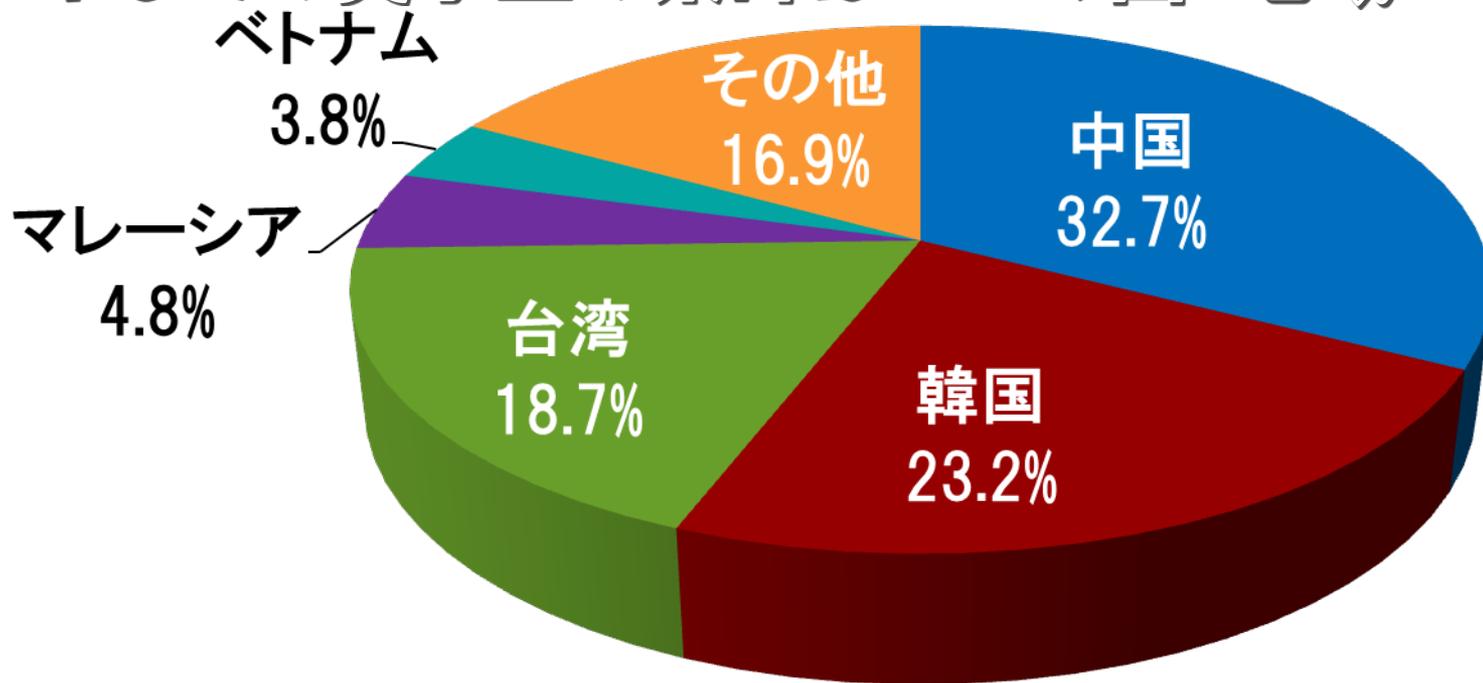
4月オリエンテーション、フォロー面談やイベントを通して米山奨学生として相応しい育成を行う

③学友会の活性化

海外(6つ)の学友会とも連携をとり、ロータリアンと繋がっていけるような仕組み作りを行う

米山奨学生の特徴①

これまでの奨学生の累計は**126の国・地域・18,104人**

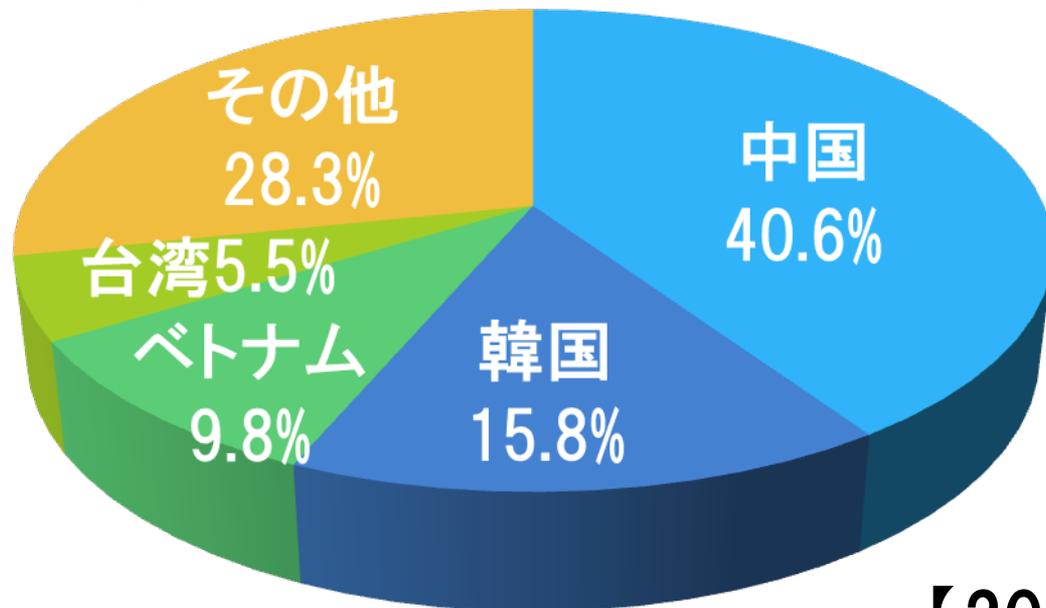


【2014.3.27現在】

米山奨学生の特徴②

民間奨学団体で最大の支援数

今年度の奨学生は724人 56の国と地域

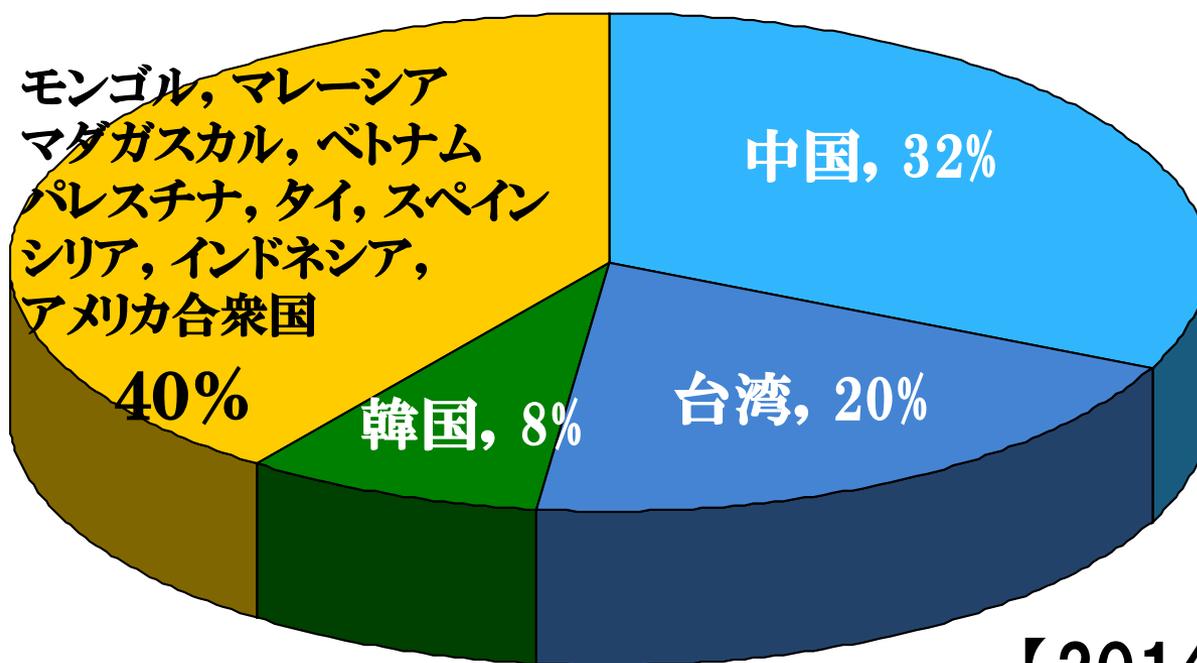


【2014.3.27現在】

米山奨学生の特徴③

R I D 2 6 6 0では

今年度の新規奨学生は25人 13の国と地域



【2014.3.27現在】

ロータリー記念米山奨学生が求める学生像①

学業・人物ともに優秀で、将来、国際社会で活躍する留学生を支援しています

◆奨学生に求められるものとは...

**学
業**

+

異文化理解

**コミュニケーション
能力**

自己管理能力：挨拶・目的意識・忍耐力・責任感・自己啓発

人間関係形成・社会形成能力：報告・連絡・相談・協調性・チームワーク

課題適応能力：問題発見・課題解決力・考え抜く力

ロータリー記念米山奨学生が求める学生像②

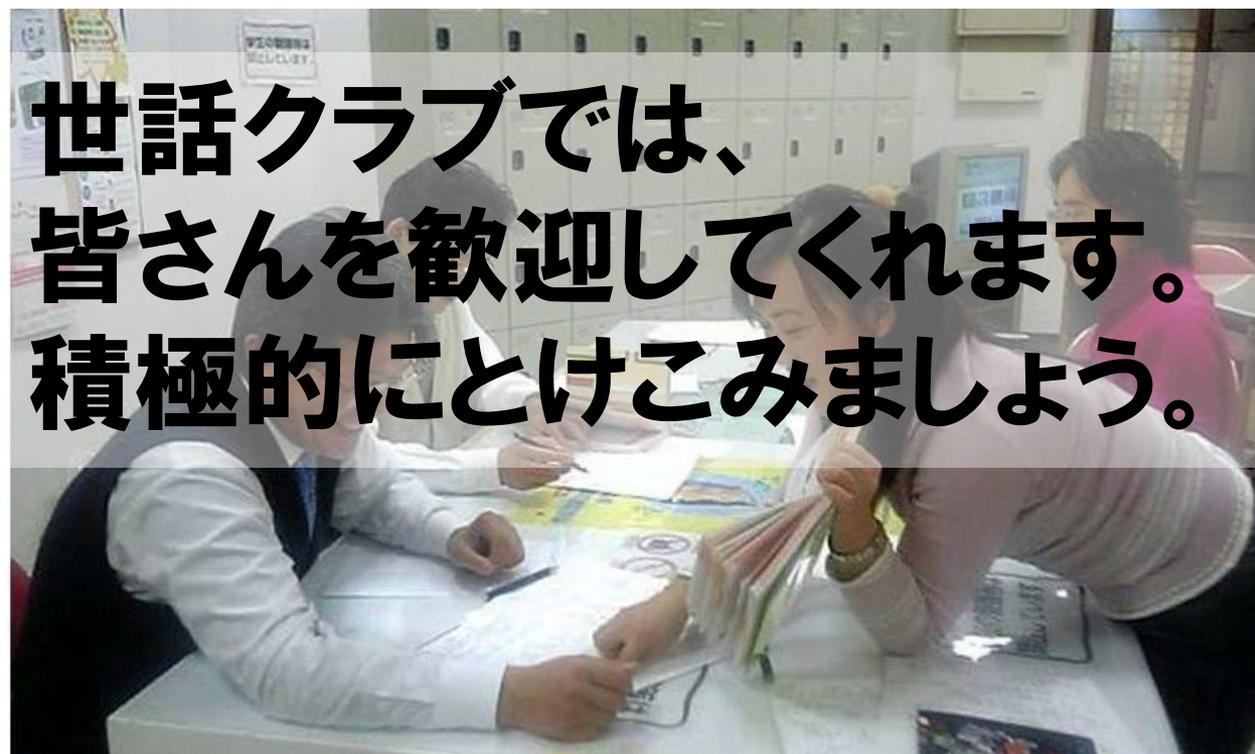
- 経済的に困窮している人や、成績優秀者だけが優先ではない
- 異文化への関心、ロータリアンとの交流や奉仕活動への意欲
- 奨学期間後も、日本と母国の架け橋として働く意識 など
(学友会で後輩のために自分の経験を役立てようとする意欲)
- × 月1回の例会参加が難しい
- × 奨学金だけが必要で、人との交流や行事参加に無関心で時間がもてない など

※理科系（実験・実習主体）や研究室の教官、学生などへの理解

※合格後の辞退（他奨学金とのW申請）

米山奨学生の特徴①

世話クラブ・カウンセラー制度



世話クラブでは、
皆さんを歓迎してくれます。
積極的にとけこみましょう。

ロータリアンとの
交流は、学校で
は体験できない
貴重なチャンス
です！

世話クラブ & カウンセラーへ のお願い①

・奨学生に

**「ロータリー米山記念奨学事業の目的を理解させ
ロータリアンや他の日本人との交流を通して
国際親善と国際交流の架け橋になるような知日家・
親日家に育てて世界中に羽ばたかせる」という**

**日本のロータリアンが寄付金に託す思いをかなえて下
さる大切な仕事をお願いしています**

世話クラブ & カウンセラーへの お願い②

★カウンセラーは「**交流の橋渡し役**」です。

- ①奨学生を紹介する際、どんな研究をしているのかを 分かり易く伝える。
- ②例会ごとに 奨学生のテーブルを代える。
- ③クラブに慣れてきたらカウンセラーは遠くで見守る。
- ④例会時間は限られているので、早めに会場に連れて来たり
例会終了後にも会員との談笑ができる機会をつくる。
- ⑤会員のパーティや祝い事行事に誘ってもらえるようお願いする。
- ⑥週報で地区の行事に参加したことや会員とのふれあい 奨学生が個人的に
参加した地域内行事 等々を紹介する。
- ⑦例会で卓話の時間を必ず設定する。

奨学生はまだまだ未熟ですので、温かいご支援・ご指導をお願いします。

2013年度 世話クラブカウンセラーからの アンケートより

- ①奨学生のクラブ及び地区の行事参加の内容
- ②奨学生の会員及び会員ご家族とのプライベートな交流内容
- ③奨学生との親睦を深めるための取り組み及び工夫
- ④奨学生を受け入れて良かった、と思われる点
- ⑤他の奨学生も参加可能な貴クラブの事業
- ⑥奨学生及びカウンセリングに関するご相談及びご質問
- ⑦当委員会に対するご意見及びご質問

④奨学生を受け入れて良かった、と思われる点

- クラブ会員の米山奨学制度に対する理解が、以前より更に深まったと思われる。
- 留学生が我が国でどのような研究を行っているかを会員が理解できたこと
- 文化の違い、考えの違いを理解できた。
- 意思の疎通ができるようになってよかった。以心伝心が可能になってきた。
- 奨学生からみた日本の状況を聞けること。（良い面・悪い面）
- 非常に真面目で真摯な態度でマスコミ等で話題になっている反日的な感情は感じとれず、日本との架け橋になってくれると信じています。
- 心の通ったサポートこそ奨学生受け入れの原点である事を実感。
- 例会時の『3分間スピーチ』等を通じて奨学生の日頃の生活を聞くことができ、奨学生支援という分野でのロータリークラブの貢献について、会員各位、改めて認識することができた。

奨学生の心得

- 皆さんが手にする奨学金は、全国のロータリアンが、皆さんの学問への熱意や将来の活躍に期待して、働いたお金を寄付して下さったものです。
- 皆さんができることは、**真摯(しんし)**に勉強に取り組むこと、**ロータリークラブと良い交流を心がける**ことです。
- 奨学期間はもちろん、奨学金終了後もカウンセラーをはじめ、世話クラブの人々との**連絡を絶やさ**ないよう~~に~~して下さい。

確約事項

！ みなさんがまもること 確約書参照

- クラブ例会に月1回出席する(複数回の場合もある)
- 9月と2月に奨学生レポートWEB登録
- クラブで卓話(スピーチ)をする
- ロータリー地区の行事に参加し、交流の輪を広げる

レポートが未登録の場合、奨学金支給停止となったり、連絡が2カ月以上取れないなどルールを守らない場合は、資格を失い奨学金が打切られます

下記の1. 地区行事出席の条件を満たさない場合、RI第2660地区米山奨学委員会より公益財団法人ロータリー米山記念奨学会に対し、奨学金打切りの申請が出される可能性がある事を理解し、同意します。

地区行事

★印の行事は参加必須とします。無断欠席の場合は奨学金打ち切りの可能性もあります。

★奨学生オリエンテーション	平成26年4月8日
●次年度の為の地区協議会	平成26年4月19日
●米山奨学セミナー	平成26年9月6日
★米山レクリエーション	平成26年10月12日
★ふれあいスピーチコンテスト	平成26年11月8日
★地区大会	平成26年12月6日
★終了式/歓送会	平成27年2月28日

①原則的には全て出席義務の行事です。特に終了式には必ず出席してください。やむを得ず欠席する場合は理由を明記し、カウンセラーの同意を得て地区委員会に提出して下さい。

②スピーチコンテストは応募者多数の場合事前選考を行いますが、選考から漏れた場合でも他の奨学生のスピーチを聞きに来て下さい。

③スケジュールを確認して学業と両立できるように時間管理をおこなってください。卒論準備のためなどの欠席理由は認められません。

学友会について

元奨学生の自主的活動

日本国内の学友会は**31団体**、海外には**6団体**(**韓国・台湾・中国・タイ・ネパール・モンゴル**)あります。



奨学期間終了後も交流をつづけましょう!

外国人留学生支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願っている「心」を育てるという米山奨学事業に更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

